

令和7年度新座市小・中学生議会

令和7年11月8日（土）午前9時開会

- 第一 開会の宣告
- 第二 会期の決定
- 第三 市長及び教育長 開会の挨拶
- 第四 小・中学生議員の一般質問（通告順）

出席議員 19名

大和田小学校	1番	2番
西堀小学校	3番	4番
片山小学校	5番	6番
第四小学校	7番	8番
八石小学校	9番	10番
東北小学校	11番	12番
野火止小学校	13番	14番
野寺小学校	15番	16番
新座中学校	17番	
第二中学校	18番	
第三中学校	19番	

欠席議員 なし

- 第五 市長閉会の挨拶
- 第六 閉会の宣告

説明のため出席した者の職氏名

市長	並木 傑	副市長	山崎 糧平
教育長	金子 廣志		

議会事務局職員出席者

事務局長	榎本
副局長	込戸

專門員	佐藤
專門員	長谷部

秘書広聴課職員出席者

課長	長瀬
係長	柴崎
主事	五味

## ◎開会及び開議の宣告

(午前9時00分)

- 議長(新座中学校) おはようございます。ただいまの出席議員は18名です。  
本日招集されました令和7年度新座市小・中学生議会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。  
本日の日程は、お手元に印刷配布しました日程表のとおりです。

## ◎会期の決定

- 議長(新座中学校) 日程第1、会期の決定を議題とします。  
令和7年度新座市小・中学生議会の会期は、本日1日間としたいと思います  
が、これに御異議ありませんか。  
〔「異議なし」という発言あり〕  
○議長(新座中学校) 御異議なしと認めます。  
よって、会期は本日1日間と決定しました。

## ◎市長開会の挨拶

- 議長(新座中学校) 続きまして、市長から挨拶のため、発言の申し出がありましたので、許可します。  
市長。  
〔市長(並木傑)登壇〕  
○市長(並木傑) 皆様、おはようございます。新座市長の並木傑です。  
本日は、よろしく申し上げます。さて、小・中学校でインフルエンザが大変猛威を振るっており、学級閉鎖や学年閉鎖の報告が毎日入っています。インフルエンザにならないように注意をしていただきたいと思います。  
本日は令和7年度の新座市小・中学生議会の開催ということで、小学校が8校、中学校が3校の、全部で11校の皆さんと開催します。来年は残りの9校の小学校、そして3校の中学校の皆さんに参加いただく予定になっていますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。  
新座市は市民の皆様の御意見を聞く広聴広報制度が整っています。例えば、市長への手紙、市長へのメール、市長へのFAX、あるいは各地域を東西南北で分けて年4回、新座市長とのタウンミーティングを開催しております。さらに、市内の立教大学、跡見学園女子大学、十文字学園女子大学の3大学の皆様

とも市長との懇談会を行っています。

小・中学生議会としましては、令和2年度から令和6年度までの5年間、新型コロナウイルス感染症のために開催できませんでした。そのため、オンラインで実施したり、中学校であれば生徒会の皆さんと、小学校も1校限定で5年生又は6年生というような形で人数を凝縮して実施しましたが、今回は議会の形で開催をすることになりました。

紐解きますと、新座市は平成6年にこのような市長子ども市政懇談会からスタートしまして、平成21年からこのような議場を利用して実施しています。また、今日は、ミニ議会ということですので、議長もお願いしています。議長を務めていただくのは、新座中学校と大和田小学校の方です。どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

本日は限られた時間ではありますが、皆様方から御質問を受け、しっかり答弁をさせていただきますと思ひます。私と教育長が答弁をいたしますけれども、もう少し突っ込んで質問したい方は、1回に限ってはありますが、質問をお願いいたします。皆様方からの意見をしっかり市政に取り組む、これは共創の社会には絶対必要ですので、市民参画をしっかりと進めていきたいと思ひます。子どもたちの意見が未来の皆様方の市政に繋がるわけですので、どうかよろしくお願ひを申し上げまして、開会の御挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願ひします。

○議長（新座中学校） 続きまして、教育長から挨拶のため、発言の申し出がありましたので、許可します。

教育長。

〔教育長（金子廣志）登壇〕

○教育長（金子廣志） 皆さん、おはようございます。ようこそ新座市議会においていただきました。この時期に、子ども議会を開くというのは久しぶりです。新型コロナウイルス感染症の前は毎年、小・中学校の市議会を開催していましたが、コロナの拡大によりしばらく中断をしていましたけれども、ようやく再開することができました。この時期、皆さんに集まっていただいて、いろんな意見を頂戴するというのはどういうことかといいますと、市役所では、秋から冬にかけて、来年度のお金の使い方、予算と言いますが、予算を立てます。どこにどれだけのお金を使うかっていうことを決めていきますので、例えば皆さんの学校の大規模な改修を、どこの学校でどのようなお金をどれぐらいのお金をかけてやるかとか、あるいは、皆さんの教室には全て75インチの電子黒板

が設置されていると思いますけれども、こうした電子黒板をどのように整備計画を進めていくかとか、というようなことを決めるのが、この秋から冬にかけてなんです。ですからその時期に皆さんの意見をしっかり聞いて、来年度の予算に生かしていきたいなということでこの時期に子ども議会を開催することにしているところでございます。どうぞ、建設的な、学校の環境がもっともっと良くなるような意見をどんどん出していただければありがたいなと思います。ちょっと教室とは違った雰囲気の中で、緊張するかもしれませんが、リラックスして頑張っていただければと思います。

## ◎一般質問

○議長（新座中学校） 日程第2、一般質問を行います。

質問は、通告書に記載してある順に行います。質問内容ははっきりと、また答弁も明確にお願いします。

なお、質問時間ですが、1校当たり4分程度でお願いします。

## ◎大和田小学校

○議長（新座中学校） それでは、大和田小学校1番、2番の一般質問を許可します。

〔1番、2番登壇〕

○1番 これから一般質問を行います。

私達は、小学生の子どもがいる家庭が、新座市に住んでみたい、新座市にずっと住み続けたいと思うまちになるにはというテーマで話し合いました。暮らしやすい新座市を目指すために、まず小学生の自分たちが今困っていることについて考えました。ここで多く出た意見は、暑さが年々厳しく、小学校に通って生活するのも、色々と大変だという意見でした。暑さ対策について、登下校、放課後に分けて提案します。

まず、登下校についてです。大和田小学校は、校区が広く、40分から50分かけて歩いて登校してくる友達もたくさんいます。朝学校に着くと、汗びっしょりになったり、具合が悪くなったり、低学年などは、途中で歩けなくなってしまうと思います。そこで、通学路の途中に日陰で休める場所を作ってもらえないでしょうか。できれば、冷水機などの水分補給もできるものがあると嬉しいと思います。場所は野火止六丁目のローソン付近ですと、一番遠くまで帰る友達の通学路の半分ぐらいになるのでいいかなと思います。また、

所々にミストなどが出る装置があると、暑さをしのげると思います。他のところ、他の小学校も同じ状況ではないでしょうか。

- 2番 次に、放課後ですが、外で遊びたくても暑くてなかなか出かけられないので、友達の家で遊ぶことが多いです。公園に日影スポットや冷たい水が出る冷水器などの設置をお願いできないでしょうか。公園だけでなく、新座市の所々に日影スポットを作れば、子どもたちだけでなく大人もお年寄りもみんな暑さの中でほっと一息つくことができると思います。冬にも憩いの場となるように、その何ヶ所かに足湯を作るのはどうでしょうか。ふるさと新座館の近くと、人がお祭りなどでもよく集まる場所もいいと思います。そこで、地域の人と触れ合うことができるかもしれません。子どもたちが暑さに負けずに学校で頑張るために、市が細やかな取組を行ってくれるような、そんな新座市に住みたいとか、ずっと住み続けたいと思う人が増えるのではないのでしょうか。

最後に並木市長にお願いがあります。学校の中で一番困っていることは、暑い日は体育ができないことです。大好きな体育ができないととても悲しいです。ぜひ、体育館にはクーラーを、また屋上のプールには屋根を設置してもらえないでしょうか。どうぞよろしくお願いします。

以上で1回目の質問を終了します。

- 議長（新座中学校） ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。

市長。

〔市長（並木傑）登壇〕

- 市長（並木傑） それでは、大和田小学校の議員の方からの御質問にお答えをしたいと思います。

熱中症対策、体育館への冷暖房の設置、屋上プールへの屋根の設置の3点について御質問いただきました、教育長とあわせて答弁をさせていただきたいと思えます。

まず、新座市では、暑さ対策としてまちのクールオアシスを設置しており、知らせるためのステッカーを貼っています。目立つわけですね。ここに来れば自由に休めますよということのシールでございます。このクールオアシスは市のホームページでも公開をしています。熱中症予防のポイントを記載したチラシが置いてあったり、休憩用の椅子も用意しています。

議員の方から、公園に日陰、そして冷水機の設置ということですが、みんなが過ごせる快適な環境ということはよくわかっております。公園に日陰スポットを設ける方法としては、屋根をつけて休憩スペースを設置することが

考えられます。また遊具の邪魔にならないような場所とか、そういうものの設置については大きなお金がかかるということでもありますので、今後の課題とさせていただきますと思います。まずは今ある駅や植え込みをできるだけ残しながら、日陰を確保できるように工夫をしていきたいと思いますので、しばらくお待ちいただきたいと思います。冷水機については、今から数十年前は色々な場所にありましたが、設置費用だけではなく、ボックスの中の水に細菌が増えないように定期的な掃除や消毒をする必要があるということで、設置してるところはなくなってきています。公園によっては水飲み場があると思いますので、冷水器ではないですけども水を補給するということは可能でございますのでご利用いただければと思っております。

また、冬でも公園を利用できる足湯の設置ということで、子どもから高齢者の皆様まで使えるということでもありますので、例えば今後の公園整備を新しくするというときには、考えてみたいと思います。新座市は、大和田小学校から近いところでは、大和田二・三丁目地区土地区画整理事業が完成しまして、カインズやベイシアといったショッピングモールや物流倉庫ができています。さらに水辺の丘公園という大変夏に人気のある公園がありまして、SNSでも拡散されたりして、一日に数百人が押し寄せて大変な状況になってるということで来年大きな課題になっておりますけれども、そのような公園も利用しながら楽しんでいただきたいと思います。

最後に市長に要望された体育館やプールの話ですが、実は大和田小学校は、体育館の耐震性の問題から解体をして、新しく建て替えます。建て替えますと、当然エアコンもつきますので夏は涼しく冬は温かくなります。今新座市は小学校17校のうち16校は全て体育館にエアコンがつけました。中学校6校については体育館のみならず、武道場にもエアコンがつけました。これは大地震や大きな災害が起きたときに、緊急的な避難所としてこの体育館を利用することになるため、長く生活しますので冷暖房は必須だということで、国からの補助金をいただきながら設置をしたものです。大和田小学校は、耐震性の問題から、解体をして、新しい体育館をつくることになっております。予定は、解体工事があと2ヶ月後ですね、令和8年の1月に工事の解体工事の発注をして、4月に着工します。来年の10月には完成をするわけでございます。お二人はもう中学生になってしまうため申し訳ないのですが、令和10年の2月に完成をするというスケジュールになっております。御安心をいただきたいと思います。屋上のプールの屋根については、教育長の方から答弁をさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（新座中学校） 続いて、教育長の答弁をお願いします。

教育長。

○教育長（金子廣志） 大和田小学校の議員の方から御質問いただきましたので、私から答弁を申し上げます。

1点目の登下校の際の暑さ対策ということですが、新座市では、先ほど市長が答弁したように、公民館やコミュニティセンター、あるいは図書館など公共施設にクールオアシスとして利用できるよう、市民の皆様にお伝えをしているところであります。暑くて困ったなど思ったときにはそこに入っていて、少し身体を冷やしていただくというクールオアシスということで進めています。もし皆さんの登下校の際にそうした施設があれば、利用していただきたいと思いますが、施設がない場合もたくさんあると思います。そうしたときに、どう暑さ対策をとっていくか、これは皆さんとお父さんお母さんと相談をしてもらいたい、あるいは学校とも相談をしていただきたいのですが、いろんな方法があるかと思えます。一つはやはり途中で水分補給ができるということも大事なことであります。ですから水筒を用意するとか、あるいは市内の学校では、つばの広い帽子、校帽を用意した学校もあります。今の帽子のあり方がこれでいいのかどうか、以前と気候が相当違ってきますから、そうしたこともPTAの皆さんや学校の先生方と一緒に、皆さんの知恵も出して考えていく必要があるかなと思います。そしてまた、今、ネッククーラーというのがありますよね。こうしたものを活用するというのも、暑さ対策には必要なのかなと思っています。でも、もし、登下校中に具合が悪くなったり、調子が悪くなったりしたときには、大和田小学校の地域の皆さんは多くの方が見守り活動していただいています。また交差点には、交通指導員さんもいますので、もし具合が悪くなったらそうした方に助けを求めてもらえればと思っています。皆さんと一緒にこうした暑さをどう乗り切っていくかということは、皆さんと知恵を出していくことが必要だと思いますので、今後、先生方とも、あるいはお母さんやお父さん方とも一緒になって考えていただければと思います。

次に体育館のエアコンの設置でございませうけれども、市長が答弁したとおり、新座市内の小・中学校の体育館と中学校の武道場そして全ての教室にエアコンが設置されています。しかしながら、大和田小学校にはまだついていないというのが現状です。大和田小学校の皆さんは、今の体育館をどう感じていますか。ちょっと入るのに不便ですよ。階段を登らなければいけません。ですから、何かみんなで集会があるときには、かなり時間がかかるのではないのでしょうか。

体育館に集合するときも教室に帰るときも狭い階段を大勢の人が使いますからとても時間がかかる、あるいは少し狭いので卒業式全員が入れなかったりするというようなこともあります。そうしたことを解消するために市では建て替えを考えています。建て替えをして、もっと広い体育館、そして冷暖房が完備した体育館を作る予定ですので、もうしばらく待っていただければと思います。

続いてプールの屋根の質問がございました。日差しを避けることができる方法として、大変有効だと思えますが、建築物には、地震に耐える基準や強度に対する基準という法律があります。そのため、1回作ったものの上にまた重いものを載せるというのは、その基準に合ってるかどうかを全部計算し直してやらなければなりません。屋根も大がかりになるとかなりの重量がありますので、こうしたことに耐えうるかどうかということは、しっかりと計算をして、法律違反や、皆さんが怪我をするようなことがあってはなりません。そのために、簡易な屋根でしたら、つけることができますけども、本格的な重量のある屋根は難しいかなと思っています。新座市では、現在、小学校の水泳指導については、民間委託を進めています。全ての学校に民間委託をしたいと思っていますが、なかなか受け入れるスイミングスクールが数多くないものですから、調整を図っているところです。今、半数近くの学校が民間の委託をしてスイミングスクールで授業をしています。大和田小学校も、いずれそういう方向になると思います。そうするとプールはもう使用しなくなりますので、そんなことも考えながら、今後の対策をとっていきたいと思っていますところでございます。御質問ありがとうございました。

○議長（新座中学校） ただいまの答弁に対し、再質問がありますか。

〔「ありません」という発言あり〕

○議長（新座中学校） 以上で大和田小学校1番、2番の一般質問を終わります。

### ◎西堀小学校

○議長（新座中学校） 続いて、西堀小学校3番、4番の一般質問を許可します。

〔3番、4番登壇〕

○3番 これから一般質問を行います。

○4番 僕たちは、新座市がずっと住み続けたいまちになるために、次の二つのことが重要と考えます。

一つめは、子どもたちの遊びの環境を整えることです。自然豊かで広い公園を増やしてほしいとか、新座市には公園がたくさんありますが、どれも小さく、ボールを使って遊んでも怪我の心配のない広い公園が少ないとか、また、自然

豊かであると小さい子どもから中高生まで幅広い年代の子どもたちが遊ぶことができます。自然が増えれば、二酸化炭素を減らすことにもつながり、環境を守ることに繋がります。そのため、自然豊かで広い公園を作ることを提案します。

- 3番 二つ目は、綺麗なまちづくりをすることです。そのために地域のごみ拾いボランティア活動を行うことを提案します。公園や道路などにごみが捨てられている現状が見受けられます。公園の草刈りや街路樹の上に隠すように捨てられていたり、投げ捨てられたりしています。この様子は、まちの美観を損なうだけでなく、小さな子どもが誤って口に入れてしまう事故や環境生態系に悪影響を及ぼすことにもなりかねません。定期的にボランティア活動を実施することで、自然を大切にしたいと考えました。ごみ箱を各所に設置してもらうことにあわせて、地域のごみ拾いやボランティア活動を提案します。以上で一般質問1回目の質問を終わります。

- 議長（新座中学校） ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。

市長。

〔市長（並木傑）登壇〕

- 市長（並木傑） それでは、西堀小学校の議員の方からの御質問にお答えをいたします。

一つ目として、子どもたちの遊びの環境を整えることの御提案を頂きました。御提案のとおり、自然を守っていく、そしてその自然を活用した広い公園は二酸化炭素の削減・吸収の大きな効果があるということで大変な重要な視点だと思っております。大きな公園を作るためには、市内で広い土地を確保することがまず重要で、さらに大変大きな費用がかかるわけでございます。今新座市で大きな公園といいますと、2ヶ所、総合運動公園が本多にございますけれども、大きな公園でございます。その中には陸上競技場、天然芝のサッカー場、それから野球場等があります。マレットゴルフ場もございます。バスケットのコートもございます。いろいろな方々が毎日のように利用していますけれども、それが一番大きな公園です。あるいは新しい子ども向けの公園ということであれば、旧片山のファミリープールがありましたけれども、そこにセントラルキッズパークというところがありました。ここも大きな公園になりました。また先ほど申し上げた大和田二・三丁目地区土地区画整理事業地内には、水辺の丘公園も新しく設置をいたしました。新たに作っていくということにつきましては、大きな費用もかかりますので、今後の計画の中で、考えていきたいと思っております。そのほかにも、公園の紹介をしっかりとっていくということも重要でございます

ので、ぜひこれも進めていきたいと思えます。

また、ボール遊びのできる公園を作ってほしいというのは、多くの子どもたちの要望がございます。現在ボール遊びができる公園は、例えば野火止六丁目と七丁目のふれあい公園ですとか、総合運動公園、石神四丁目の第一児童遊園等々がございまして、そのような場所を御利用いただきたいと思っております。

二つ目の御質問で、地域のごみ拾いボランティアの活動について御提案を頂きました。皆さんが住んでいる新座市を綺麗にするためにボランティアとして清掃活動をしている団体が、今でもございます。まずは、町内会の皆様、あるいは自治会の皆様によります、これは大規模な一斉清掃を年2回行っております。夏の手前と秋口に2回ありまして、町内会で集めたごみは、全て市の清掃車で回収しまして、ごみの焼却場に持っていくというような取組を行っています。また、町内会や自治体以外のボランティア団体の方も、現在12団体いらっしゃいます。そして埼玉県でも、埼玉県川の国応援団というボランティア制度がありまして、道路や公園、川の清掃もしていただいております。黒目川や野火止用水の清掃や草刈りをしていただいております。さらに、夏場には、柳瀬川や黒目川の清掃活動をしているグループもございます。ごみ箱を設置したらどうかというような御提案をいただきましたが、今新座市のみならず、いろいろな公園に行っても、ごみ箱は置いていないですよ。といたしますのは、一時期ごみ箱を置いてた時期がありましたが、そのごみ箱に家庭ごみを持ってくるなどして溢れている状況が多々見受けられました。したがって今は一人一人が、ごみは自分で持ち帰ると、残さないというのが基本であると思えますので、ごみ箱の設置は新座市の方では考えにくいのかなと思えます。御理解をいただきたいと思えます。今後も市内で清掃や草刈りをしていただいているボランティアの活動の皆様を、SNSなどを通じて広く周知を図っていきたくと思えます。さらに、このようなボランティア活動を今後とも進めていきたくと思えますので、どうか小学生の皆さんも、ボランティアに参加していただければありがたいと思えますので、どうぞよろしく申し上げます。以上でございます。

○議長（新座中学校） ただいまの答弁に対し、再質問がありますか。

〔「ありません」という発言あり〕

○議長（新座中学校） 以上で西堀小学校3番、4番の一般質問を終わります。

◎片山小学校

○議長（新座中学校） 続いて、片山小学校5番、6番の一般質問を許可します。

〔5番、6番登壇〕

○6番 これから一般質問を行います。

私達は小・中学生や保護者のアイデアを詰め込んだショッピングモールを作ることを提案します。その理由は、新座に住む当事者が計画に参加することで、ずっと住み続けたいという理想的なまちになると考えるからです。地下鉄12号線の延伸実現に係る新駅周辺地区におけるまちづくり構想によれば、野火止や畑中馬場地区周辺にいずれもまだ仮の名称ですが、新座中央駅、新座中央公園、道の駅新座の整備を行う予定で、その周辺に商業用施設を建設する計画があるそうです。それが住む人たちの案がたくさん入ったショッピングモールであれば、新座の力がさらにアップすると思います。

○5番 片山小学校では、ショッピングモールに入れるお店として、小中学生に人気のある文房具店、小さな子どもたちでも楽しめる巨大迷路、室内でも体を動かすゲームができるVR空間、新座市の特産品を販売するコーナー、ボール遊びができる屋根付きの公園の併設などが案として出されました。また、最新の耐震構造を施し、ペットも避難できる避難所としておけば、大雨などの災害時にも活用できると思います。その他にも、災害に関するイベントや、子どもたちが作った花火を上げる大会や地元の店とコラボした商品開発や屋台の体験などを毎年恒例にしたり、PR動画やポスターを作り、SNS等で配信したりすれば、新座市の知名度も上がると思います。いかがでしょうか。

以上で1回目の質問を終わります。

○議長（新座中学校） ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。

市長。

〔市長（並木傑）登壇〕

○市長（並木傑） 片山小学校の議員の方からの御質問にお答えしたいと思います。

パネルを作ってわかりやすく表現していただきありがとうございました。人口減少と少子高齢化は全国的な課題であります。新座市も例外ではありません。新座市は今、16万6千人、8万1千世帯の人口を有しております。全国ではもう人口減少の時代ですけれども、なんとか新座市はまだ微増で、人口が増えている状況でございます。そんな状況の新座市でも、将来には人口減少のときが来るということであります。そういう中で、新座市は市街化調整区域という少し難しい言葉ですけれども、そこに住めない、住んではいけない、そういうエリアが40%あるんですね。その代表的なところがこの地下鉄12号線が来る馬場畑中エリアでございまして、ここの調整区域を市街化に編入するために

はどうしても鉄道が必要です。そのために今都営地下鉄12号線、大江戸線は光が丘でストップしておりますけれども、そこから3駅新たに作りまして大泉学園町までの都営地下鉄が2040年、全線開通で決定しています。その先、大泉学園町駅から新座市を通過して清瀬市に入り、最終的にはJR武蔵野線の東所沢駅に結節をするということで、平成28年に国土交通省交通政策審議会からそういう答えをいただいて、今後いろいろ課題がありますけれども、目指して頑張ってくださいということをしていただきました。次の答申が15年後なんですね。また申請をしてお願いをしていく必要がございます。だいぶ現実味を帯びてきたということで新座市としても、案を作っております。この馬場ですね、関越自動車道の新座料金所付近でありますけれども、その近くに新しいまちを作っていこうということで案を二つ作って、これは公表しております。それを元に御質問いただいたと思っておりますけれども、その中でぜひショッピングモールを作っていただきたいということであります。当然市としてもショッピングモールを作っていきたいと考えています。その中にいろいろな御提案をいただきました。子どもたちが遊べる広場、図書室、あるいはボール遊びができる空間、ペットと同行する避難所を作るとか、いい提案だと思います。今後このショッピングモールを作る中で御提案の内容を、ぜひ盛り込ませていただくようお願いしていきたいと思っております。おそらくそのショッピングモール等を作るのは民間企業でありますので、企業にも御提案の内容はお伝えをしていきたいと思っております。現在、新座市にありますショッピングモールは、大和田のカインズのくみまちモールですとか、OCSデオシティ新座ですね、浦和所沢街道のバイパスのところにもございますし、また志木駅にはマルイがあります。今後こういった計画をしっかりと進めていくためには、やはり市民の皆さんの盛り上がりが必要でございますので、特に皆さんのような小・中学生がこれから例えば20年30年後に目指すまちでありますので、小・中学生の皆さんがしっかりそれを考え提案をし、そしてそれを具体化するように頑張っていただければと思います。大変素晴らしい提案を頂きましてありがとうございました。今後も頑張ってください。

○議長（新座中学校） ただいまの答弁に対し、再質問がありますか。

〔「ありません」という発言あり〕

○議長（新座中学校） 以上で片山小学校5番、6番の一般質問を終わります。

#### ◎第四小学校

○議長（新座中学校） 続いて、第四小学校7番、8番の一般質問を許可します。

〔7番、8番登壇〕

○7番 これから一般質問を行います。

私達は新座市ならではの魅力を全国の人に知ってもらうために、新座市の魅力をPRするアニメを制作することを提案します。アニメのキャラクターにはゾウキリンや新座市の特別住民である、鉄腕アトムを採用したいと思います。提案した理由は、大きく2点あります。1点目は、世界中の人々に新座市の魅力を分かりやすく伝えることができるからです。日本のアニメは世界中の多くの人々に親しまれています。アニメで発信することで、世界中の人々が興味を持ち楽しむことができます。アニメの舞台は、新座市内の平林寺や雑木林、野火止用水といった新座市らしさが伝わる場所を想定しています。インターネットを使って世界中に新座市の魅力を発信することができるため、有効なシティプロモーションに繋がると 생각합니다。

○8番 2点目は、新座市の発展に繋がると考えたからです。アニメを見た市内外の人々が、新座市に興味を持って遊びに来る人が増えると考えます。新座駅の発車メロディーには鉄腕アトムの歌が採用されているため、新座市や駅に訪れたいと考える人は多くなると 생각합니다。その結果、新座市に多くの人々や企業が集まり、選ばれる魅力的なまち作りに繋がると 생각합니다。また、公式YouTube等で動画配信をすることで、効果的な情報発信もできます。世界中の様々な世代の人々が楽しめる魅力あるアニメコンテンツを未来に残すこともできます。乗り越えなければならない課題はあると思いますが、よろしくお願ひします。

以上で1回目の質問を終了します。

○議長（新座中学校） ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。

市長。

〔市長（並木傑）登壇〕

○市長（並木傑） それでは、第四小学校の議員の方からの御質問にお答えをいたします。

御質問にもありました日本のアニメのクオリティは非常に素晴らしいと思います。日本の世界に訴える一つの大きなコンテンツであり、外国からも高い評価を頂いております。そして聖地巡礼というようなスポットに外国の方たちが日本を訪れて、そこに行って写真を撮るといふような行動をしております。私も新座市にそういうところができたら、日本国内のみならず、外国の方も来ていただけるのかなと思つていろいろ探してはいるのですけれども、なかなか見つからないというのが現状でございます。いいところは当然たくさんあると思

います。平林寺ですとか、妙音沢ですとか野火止用水のような風景や場所がご  
ざいます。今後色々な形で発信をしていきたいと思ひます。そして、この日本  
のアニメの聖地巡礼ということでありますが、お隣の所沢市には、角川さんが  
ところざわサクラタウンというのを作りまして、そこを聖地巡礼のナンバーワ  
ンにして、世界日本の各地を巡ろうというような構想もあるそうです。そうい  
う意味では、鉄腕アトムを制作した手塚プロダクションが新座市役所のすぐ  
300m先にございます。5階建てのビルでその最上階には、手塚治虫さんとい  
う、作者の方が制作をしたお部屋が、亡くなる前日までそこでいらっしやい  
ましたので、そのまま残ってるといふ貴重な場所があります。そういったところ  
も大いにPRをしていきたいと思ひます。

新座市では市の魅力を発信するためには、総合政策部の中にシティプロモー  
ション課という部署があります。専門的に新座の魅力を発信するということ  
で日々活動している課でございます。新座市のプロモーション動画というの  
がありまして、御覧になりましたでしょうか。実写で2本あり、綺麗なプロモ  
ーションビデオです。今年新座市は55周年の記念事業を数多くやっているの  
ですが、10月27日から1週間、東武鉄道全線でトレインビューがある列車で  
ございますけれども、特に東武東上線であれば、副都心線と有楽町線が乗り  
入れしている車両には1週間ずっとその新座市のプロモーション動画を放  
映していました。新座市のイメージアップに繋げるという意味では、大変  
効果的な事業でした。東武東上線のみならず、アーバンパークラインです  
とか、あるいはスカイツリーラインにもその映像が流れていたということ  
です。また、イメージキャラクター、新座市は皆さんゾウキリンを御存知  
だと思ひますが、ゾウキリンとこの鉄腕アトムがコラボしまして、隣の  
第二庁舎の壁面に飾ってあります。さらに、その鉄腕アトムが、昭和100  
年を記念して、11月1日からテレビ埼玉で鉄腕アトムのアニメを全巻再  
放送していまします。190本程度あるらしいのですけれども、毎週土曜日  
の午後6時30分から7時までの30分間、全作を出す放送するそうです  
ね。3年間かかるそうけれども、ぜひ見ていただきたいと思ひます。鉄腕  
アトムは新座市のいろんなところにありますし、新座駅の発着の音声は鉄  
腕アトムの音楽が流れていまします。御提案のアニメで新座市の魅力を  
発信するといふのは新しい提案でございますので、これはぜひ、今後活  
用して検討させていただきたいと思っております。当然、こういうアニメ  
を利用して市のいろいろPRをするには、YouTube、XあるいはFacebook、  
LINE等を利用してしながらどんどん広めていきたいというふう  
に思っております。大変貴重な御提案をいただきまして、誠にありがとうございました。

○議長（新座中学校） ただいまの答弁に対し、再質問がありますか。

〔「ありません」という発言あり〕

○議長（新座中学校） 以上で第四小学校7番、8番の一般質問を終わります。

## ◎八石小学校

○議長（新座中学校） 続いて、八石小学校9番、10番の一般質問を許可します。

〔9番、10番登壇〕

○9番 ○10番 これから一般質問を行います。

○9番 私達は、新座市に住んでみたい、ずっと住み続けたいというテーマについて話し合いをしてきました。その中で、新座市をもっと住みやすいまちにするには、市が抱える課題を解決することが大切だと考えました。

○10番 私達が注目した新座市の課題は、市内の医療機関が少ないということです。新座市には、人口10万人当たりの一般診療所が約40施設しかなく、全国平均の約76施設に比べてかなり少ないそうです。医療機関が少ないと、子どもや高齢者、障がいのある人がいる家庭にとって、暮らしにくいまちになっています。そこで私達は、子どもや高齢者等がいる家庭を支援する方法として、次の二つを提案します。一つ目は高齢者の医療費無料化です。けれども、既に子どもの医療費が高校生まで無料になっており、高齢者の医療費も無料にするのは現実的には難しいかもしれません。そこで、私達がポスターやSNSを使って広く呼びかけ、募金箱をコンビニなどに置いて、募金を集めるという方法を提案します。

○9番 二つ目は、オンライン診療の推進です。近くに医療機関がない方や通院が難しい高齢者にとって、オンライン診療はとても便利です。そこで私達は、オンライン診療の説明をするパンフレットや動画を学校で活用しているロイロノートなどで作ったり、オンライン診療の受け方を教える会などを開いたりして、オンライン診療をもっと広めていくことを提案します。このほかにも、近くの病院がすぐにわかるマップを作ったり、学校で子どもと高齢者が一緒にラジオ体操などをしたりして、健康づくりに取り組んだりすることもできると思います。小学生の私達にできることを少しずつ実行していくことで、新座市に住んでみたい、ずっと住み続けたいという願いを、きっと実現できると信じています。

○9番 ○10番 市長並びに関係部署の方々には、前向きな答弁をよろしくお願ひします。

○議長（新座中学校） ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。

市長。

〔市長（並木傑）登壇〕

○市長（並木傑） それでは、八石小学校の議員の方からの御質問にお答えします。

一つ目の高齢者の医療費の無料化につきましては、高齢になると医療機関に行くことが増えまして、医療費の額が多くなることは分かると思います。これを踏まえて、高齢者の方が安心して医療を行えるように、75歳以上の方は、皆さんの保険証とは別に、後期高齢者医療保険という制度がございます。これは国・県・市それから高齢者、利用者ですね、自分自身が負担する、そんな世代間、若い世代からも支援してもらおうという仕組みがございます。そのため、負担は1割がほとんどの方でありまして、かかった費用の10%は払っていただくというような制度になっております。それを無償化するということでありますけれども、これは市で単独でできるのはなかなか難しい御提案だと思いますので、県・国も通じて、無料にするかどうかについては今後の取組みになるかなと思います。それよりも今は新座市もそうですけれども、高校3年生までは全て医療費や入院通院が無料になりまして、御不便をかけないような形をとっていますので、ただ医療費が大変増えているということも事実でありますので、そちらばかりお金を使うと、今度は道路を整備したり橋を直したり、あるいは学校の整備もなかなかできなくなるということで、バランスをとって考えていきたいと思います。また、市では、高齢者の皆さんが気軽に立ち寄っていただいている仲間づくりをするような施設があります。老人福祉センターのような大きな施設が市では3ヶ所、堀ノ内にある老人福祉センター、大和田四丁目の第2老人福祉センター、もう一つは、栄にある福祉の里老人福祉センターです。福祉の里老人福祉センターは、新座市営墓園の横にありますけれども、その4階建ての福祉の里という施設の2階にリニューアルさせていただきました。それとは別にいきいき広場というのが市内に今5ヶ所ございまして、八石小学校にも高齢者いきいき広場があると思いますけれども、高齢者の皆様が小学校に来る形で利用していただいています。小学生の皆さんと一緒にね、健康づくりをするというのは大変いい取組みだと思いますので、今後皆さん協力していただいで、高齢者の皆さんと遊んだりお話などをしていただければ、本当に喜ばれると思います。

また二つ目、医療機関が少ないということで、私もよく調べてみました。様々な統計があるのですが、医師会という会に入っていない医療機関も結構ありま

して、そういった医療機関も全部含めると、今新座市内に診療所は130ありますね。内科・外科・小児科・耳鼻科等の診療施設は73、そして歯科施設が57あるということでもあります。ただ、これが多いか少ないかといったらまだ足りないのかなと思います。新座市は近隣の東京都に近い地区、例えば、栗原、野寺、新堀地区等は、東京都の方も来ますけれども、お互いに連携をするということも可能なのかなと思います。そして大変感心したのはオンライン診療を広めていくという提案についてですが、こういった方法も、今主流になりつつありますので、これも新座市で取り入れることも可能ではないかと思いますので、今後進めていきたいと思います。また、医療情報ネット（ナビイ）というサイトがありまして、これは市ホームページで紹介していますが、オンライン診療可能な医療機関がありますので、これも見ていただければと思います。これは医療機関のみならず、薬局も検索できますので、御利用いただければと思います。こういうことをしっかりとホームページで周知をしていきたいと思いますけれども、場所についても、市の地理情報システムのマップに全部出てますので、それを見て、自分の住んでいる近くのお医者さんを検索していただいて、御利用いただければと思います。大変素晴らしい提案をいただきましてありがとうございます。

○議長（新座中学校） ただいまの答弁に対し、再質問がありますか。

9番、10番。

○9番 現在は、学校などにタブレットをたくさん配布してるとは思いますが、その中で使われなくなったタブレットや余っているタブレット等はどうしていますか。また、タブレットがない、スマートフォン等ない高齢者の方にこういったタブレットを配布することは可能でしょうか。

○議長（新座中学校） ただいまの再質問に対し、答弁をお願いします。

市長。

○市長（並木傑） ロイロノートの活用をしながら、オンライン診療の受け方を教える会という具体的なさっき御提案をいただきまして大変いいことだと思います。ですから余ったパソコンを利用するということもそうですし、また皆さんから、その診療の受け方についても、高齢者の皆様にお伝えをしていくということも今後必要かなというふうに思いますので、これは大変良い御提案だと思います。

○教育長（金子廣志） オンライン診療に学校のパソコンを活用できないかという質問がございましたので補足をさせていただきたいと思います。実は中学校のタブレットにつきましては、Chromebookを今まで活用してきまし

た。小学校も同じでございませう。今年のもなくですが、ChromebookからiPadに替える予定で今準備を進めているところだございませう。そのため今使っているタブレットが余るわけですけれども、これはかなり故障も小学校でも増えてきていますので、その故障対策として、予備の機械としてとっておきたいなというふうだ思っています。それから、実はChromebookのOS、ChromeOSというのは使用期限がありまして、その使用期限以上には使えないというふうなこともあって、残念ながら、長く活用することができないという状況がありますので御理解をいただければと思います。

○議長（新座中学校） 以上で八石小学校9番、10番の一般質問を終わります。

### ◎東北小学校

○議長（新座中学校） 続いて、東北小学校11番、12番の一般質問を許可します。

〔11番、12番登壇〕

○11番 これから一般質問を行います。

私は市議会で、屋内施設を増やすことを提案します。私は放課後に、よく友人たちと学校外で遊ぶことがあります。その際、友人の家が使えないときに、ふれあいの家という屋内施設を利用しますが、ふれあいの家が休みの場合、友人と遊ぶことができないときがあります。現在、代わりに利用できる施設の少なさや、飲食禁止の不便さなどから、小学生が気軽に利用できる施設は決して多くなく、とても少ないと考へます。そして東北小学校の周りを調べてみても、屋内施設はあまりありませんでした。また、志木駅周辺の公園を調べたところ、一つしかないことがわかりました。北野の方に公園が集中していて、それでも三つしかありません。このようなことから、全体的に見ても、公園は少ないといえます。私の友人たちに意見を求めたところ、友達とみんなで遊びたいのだけれど、飲食禁止という点、遊べる場所が少なく、狭いという点があり、遊ぶ回数が少なくなるということだ答えました。屋内施設では、カードゲームなどのいろいろな遊びをすることで、思考力や判断力を養う遊びができます。これらの遊びは屋内の少ないスペースでも遊ぶことができ、雨風にとらわれずに安全に遊ぶことができます。また、屋内で遊ぶことの遊びは、コミュニケーション能力が向上し、学習に役立てることに繋がります。このようなことから、屋内施設を増やすことが必要であると考えます。

○12番 僕は、通学距離が1.5km以上の中学生に自転車通学を認めようという案を提案します。僕がこの案を選んだ理由は3つあります。一つ目は熱中

症対策です。近年、夏には危険な暑さの日が続いています。2019年度の熱中症で搬送された人の人数は7万1,317人で、そのうち15～16%の人たちが道路へ倒れ、搬送されてしまったというデータがあります。このようなことから、登下校時間を短くすることで、熱中症から生徒を守ることができます。二つ目は、時間を有意義に使えるということです。部活が終わるのが午後6時頃だとすると、そこから夕食、勉強、入浴、就寝と慌ただしく過ごし、好きなことに時間が費やせず、ストレスが溜まってしまわないのでしょうか。そこで、自転車通学によって短縮された時間を有意義に使うことによって、好きなことに時間が費やせ充実感を得られると思います。三つ目は、部活の地域移行です。平日の部活動を他中学校で行うこともあるでしょう。自宅へ帰ってからは他中学校へ行くには大変な労力、時間が要ります。移動時間が妨げとなり、部活動継続が困難になることのないよう、移動はスムーズに行えるようにする必要があります。このようなことから、自転車通学には、熱中症から身を守れる安全性、時間を短縮できる利便性が備わっています。事故を防ぐために、自転車講習を行うことで、安全性も確保できると思います。以上のことから、私は通学距離が1.5km以上を超え、自転車通学を希望する中学生に自転車通学を認めてほしいと思います。

以上で1回目の質問を終わります。

○議長（新座中学校） ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。

市長。

〔市長（並木傑）登壇〕

○市長（並木傑） それでは、東北小学校の議員の方からの御質問にお答えをさせていただきます。

テーマ①として、少ないスペースでも子どもたちが安全に遊ぶことができるよう、屋内施設を増やそうとの御提案をいただきました。新座市の北部地域ですけれども、志木駅南口周辺ということで、大変人や車の通行も多く、自転車も多い新座の最大の繁華街エリアであります。その中で子どもたちが遊ぶ場所がないという状況を、市長としても認識はしております。現在、市内の古くなった施設を新たな施設にしましょうということで、今計画を進めております。それは何かといいますと、志木駅南口から直結をしていた、にいざほっとぷらざという施設です。東武鉄道が所有していた場所で、色々な事情で閉めましたが、そこにあった機能は今東北コミュニティセンターに移しているのですけれども、手狭ですし、機能が不十分だということで、そこに複合施設を整備しまして、子どもの遊ぶスペースですとか、図書室ですとか、楽器を演奏できるような防

音装置を備えた部屋ですとか、出張所の機能などが入った施設を整備しようという計画を立てておりました、着々と進めています。工事が終わって完成するのが令和11年になりますけれども、そこまで少しお待ちいただければと思います。そして、公園ですけれども、よく調べてみますと、富士塚公園、三軒屋公園のほか、東北一丁目の児童遊園、東北公園、下東公園、あるいは北野公園、北野中央公園、北野第2公園などもありますし、小さい公園では東北二丁目第1ポケットパーク、北野の憩いの森、北野三丁目第3ポケットパークもございます。ビルとか住宅地が並んでるところにも公園施設はありますので、御利用いただければと思いますけれども、さらにということもございますので、それぞれの特徴がありますので、遊び方には十分工夫しながら遊んでいただければと思います。

またテーマの2でございますけれども、自転車通学等につきましては学校の課題でございますので、教育長の方から答弁をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。貴重な御意見、御提案ありがとうございました。

○議長（新座中学校） 続いて、教育長の答弁をお願いします。

教育長。

○教育長（金子廣志）

東北小学校の議員の方からの御質問にお答えいたします。まず、中学生の自転車通学でございますけれども、中学生の自転車通学は新座市内でも1校だけ許可をしている学校がございます。それは第六中学校でして、第六中学校の学区というのは、新座の南の端、清瀬市と東久留米市に隣接をしているところにあります。地図を見るとわかると思っておりますけれども、実は新座市はずっとその二つの東京都の市の間に入り込んでいるという地形があります。そのために学校までかなり遠くになってしまうというところでした、そうした学区については、一部自転車通学を認めているところでございます。自転車通学は、利便性が高まりまして、時間も有効に使えるという、議員の御指摘の通りでございますけれども、問題点としては、交通事故の危険性です。警察庁の発表によりますと、令和7年度、今年の上半期、1月から6月までの自転車による事故が7,551件発生をしているということであります。その内6,420人が大きな怪我をしているというような状況であります。新座市内を見ると、国道254号線が真ん中を走りそしてまた多くの道も渋滞をしたりする大変車の通りが激しい道路が多くあります。さらに、自転車の専用道路というのはなかなか用意できない状況でありますから、こうした状況の中で、自転車通学を認めるというのは、大変危険であると、命に関わることでありますので、なかなか安易に

許可をすることはできないと思っているところでございます。御理解をいただければと思います。

そして部活動の地域展開の際の自転車の活用ということ、これは、今まで学校が終われば、そのまま学校の中で活動ができるという状況でしたけれども、これからはいくつかの拠点校に行かなければならないということもあります。そうすると、どうしてもやはり自転車を活用することになるかと思えます。今後ですね、今、現在、休みの部活動の地域展開は、三つの部活動、バスケット、それからバドミントン、剣道で行われていますが、来年度はさらに多くの部活動を地域展開に移していく予定です。そして、令和13年度までに、全ての部活動の地域展開を進めていくというのは、これは国の方針でありますので、新座市もそれに従って進めていく予定になっています。そうなりますと、学校以外で活動が展開される、例えば、陸上等の部活動は陸上競技場で行われるというようなことになろうかと思えます。そうしますと遠距離になりますから、自転車を活用するというようなことも考えられるわけであります。自転車を使う際は、しっかりとヘルメットをかぶって交通ルールをしっかりと守って部活動に参加していただければと思っているところでございます。以上です。ありがとうございました。

○議長（新座中学校） ただいまの答弁に対し、再質問がありますか。

〔「ありません」という発言あり〕

○議長（新座中学校） 以上で東北小学校11番、12番の一般質問を終わります。

以上で、前半の一般質問を終了します。

ここで15分間休憩します。

休憩 午前10時25分

再開 午前10時40分

○議長（大和田小学校） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

後半の一般質問を行います。

質問は、通告書に記載してある順に行います。質問内容ははっきりと、また、答弁も明確にお願いします。

なお、質問時間ですが、1校当たり4分程度でお願いします。

◎野火止小学校

○議長（大和田小学校） 続いて、野火止小学校13番、14番の一般質問を許可します。

〔13番、14番登壇〕

○13番 これから一般質問を始めます。

私達が提案したいことは二つあります。一つ目は、日陰の少ない通学路に街路樹を植えることです。ここ数年、夏の気温は高く、また通学路に建物の日陰もない道もあり、登下校のときも熱中症対策をしながら歩いている児童が多くいます。実際に、少しでも日陰があればという声も聞こえています。そこで、建物の日陰がない通学路に街路樹を植えるというのはどうでしょうか。植える木を新座の花であるコブシや、景観の美しい藤の花、夏に花を咲かせ日陰にもなるムクゲなど、季節ごとに違った花を咲かせる樹木をセレクトすれば、夏は登下校する児童の日陰になり、花の咲く季節には、地域の方々の目を楽しませることができます。また、樹木が増えることによって、二酸化炭素の削減にも繋がると思います。

○14番 二つ目は、今ある公共施設に児童センターのような子どもが遊べる機能を付け加えてほしいということです。学校では、児童センターや子どもが遊べる施設をいろいろ色々なところに作ってほしい、ボールで遊べる場所が欲しいという意見が多く出ました。しかし、社会科の授業で政治の勉強をして、土地もないし、予算の面でもあまり現実的でないことがわかりました。そこで、今ある施設に子どもが遊べる施設をつけ加えるというのはどうでしょうか。例えば私達の住んでいる地域にはふるさと新座館という施設があります。ふるさと新座館には大きな芝生があり、そこにフェンスがあれば、ボール遊びができると思います。このように、現在ある施設に付け加える方法なら、無理せずみんなの要望を叶えられるのではないかと考えました。

このように、私達が暮らしやすいと思うことが、小中学生の子どもがいる家庭が、新座市に住んでみたい、新座市にずっと住み続けたいと思うまちに繋がると思います。新座市が魅力あるまちになるために、私達はこの二つの提案をします。

以上で1回目の質問を終了いたします。

○議長（大和田小学校） ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。

市長。

〔市長（並木傑）登壇〕

○市長（並木傑） それでは、野火止小学校の議員の方からの御質問にお答えを

申し上げます。

まず1点目として、通学路として使っている道路に街路樹を植えて欲しいほしいという御質問でございます。熱中症対策として街路樹を植えて日陰を作ることには大変重要です。そのためには歩道の幅のスペースを確保することが重要でございます。通学路には、大変狭い道も通っていますので、そういうところは街路樹を植えることは難しいですけれども、その街路樹が増えるスペースがある都市計画道路を新しく整備するときには、街路樹を植えて日陰対策にしたいと思っておりますし、景観対策をしていきたいと思っております。例えば野火止小学校の前を走っている志木街道には十分な歩道のスペースがあり、街路樹が植えてありますので、今後の整備をしっかりとしていきたいということを、これは、道というのは管理をする主体がございまして、例えば254バイパスのような国道は国が管理しており、野火止小学校の前を通っている大きな道については埼玉県が管理をしています。そして野火止小学校の正門の方に入ってくる道は新座市の方で市が管理しているという道路ですので、国、県、市それぞれ連携しながら、しっかりと進めていきたいと思っております。

2点目でございます。今ある公共施設に子どもが遊べる機能を付け加えてほしいという御意見でした。例えば具体例としまして、ふるさと新座館の隣の野火止ふるさと広場、ふるさと新座館の建物の前にある芝生の広場ですけれども、フェンスをつければボール遊びができるのではないかと御提案を頂きました。ただ皆さんから意見が出たように、市内のいろいろな場所に子どもが遊べる施設を作るとは有効ですけれども、社会科の授業で習ったとおり、広い土地と多くの費用が必要です。そのためには、お金もたくさんかかってしまいますので、今ある施設を利用したらどうかという御提案を頂きました。ふるさと新座館前の広場の前に作るというのは、他のイベント等の利用もありますので、難しい状況であると思っております。したがって、ボールを使うということであれば、このふるさと新座館からすぐ近くにございます、野火止六丁目ふれあい広場や野火止七丁目ふれあい広場等もございますので、そちらを利用していただければと思っております。また、本多にあります新座市の児童センターは新座子育てネットワークの方々が運営管理をやっておりまして、こちらでは、どこでも児童館ということで、移動して子どもたちと一緒に遊ぶという事業をやっていきます。例えば市の北部の方でありますと下東公園ですとか、北野第二公園、新座駅南口公園、大和田公民館、市の中央部ですと、野火止公園、ふるさと新座館、南部の方であれば、栗原公園や浅間上児童遊園でこの子育てネットワークの方々で行って、地域の公園として、大縄跳びとかフリスビー、工作などの様々

な事業を展開しておりますので、御参加いただければと思っております。市では事業や設備を充実させて、皆さんが日々楽しく過ごしていく場所を作っていくということは大変重要でありますし、皆さんが住みやすいと思っただけ、そういうまちにするには、こういう公園整備が大変重要だと思いますので、今後もしっかり皆さんの意見を取り入れて市政に反映をしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。今後とも御提案いただきたいと思ひますので、ありがとうございます。

○議長（大和田小学校） ただいまの答弁に対し、再質問がありますか。

〔「ありません」という発言あり〕

○議長（大和田小学校） 以上で野火止小学校13番、14番の一般質問を終わります。

### ◎野寺小学校

○議長（大和田小学校） 続いて、野寺小学校15番、16番の一般質問を許可します。

〔15番、16番登壇〕

○15番 これから一般質問を行います。

今、私達が学校で毎日おなかいっぱい食べている給食は、親が給食費を払っているおかげです。しかし東京都では、公立小中学校の給食は、令和7年1月から無償化しており、小・中学生がいる家庭からすると、東京都の方が住みやすいと思っている人が多いかもしれません。私はこのことから、東京都のように教材費や給食費の無償化をすることで、子どものいる家庭の負担を減らすと考へます。ただし、ただ給食無償化することで税金がかかることも知っているので、わたし達小中学生は毎日給食の残飯を減らしたり、教材を大切に使用して、無償化してよかったと思えるように行動していきたいです。このように、小中学生のいる家庭がお金で不安を感じない生活ができる新座市を作ること、住み続けたいと思ってくれるのではないのでしょうか。

○16番 新座市で子どものいる家庭が住みたいと思えるようにするには、病院の増設と、子どもが集まって遊べる公園を増やすことだと考へます。その訳は、今の新座市には病院が少なく、少し離れた場所に行かないといけません。そのため、本当に具合が悪いとき、車を運転できない人は病院に行きづらくなってしまいます。

次に遊ぶ場所についてです。最近、春、秋の季節が短くなり、冬と夏の期間が長くなっています。9月から既に猛暑で、思う存分外で遊ぶことができませ

ん。また、ボールを使った遊びができる公園も少ないです。なので、暑さや寒さを気にせず遊べる室内施設やボールを使った遊びができる公園を作ると良いと考えます。そこで、集金、募金をして、施設を作ることで、ずっと住み続けたいと思える人が増えると考えます。以上で1回目の質問を終了します。

○議長（大和田小学校） ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。

市長。

〔市長（並木傑）登壇〕

○市長（並木傑） それでは、野寺小学校の議員の方からの御質問にお答えを申し上げます。

給食費あるいは教材費の件につきましては、教育長から御答弁申し上げます。

次に、病院の増設について御質問いただきました。市として病院が増えることは喜ばしいことですが、市が自ら病院を設置することは、場所や人員の確保など考えますと、難しい状況です。しかし、近くの病院がすぐ検索できるように、市ホームページの地理情報システムにあるいざマップで、病院や診療所、歯科診療所の場所や情報を公開しておりますので、御利用いただきたいと思っております。先ほど八石小学校の議員の方にも御答弁申し上げます。現在市内には130の診療所、歯科医院がございますが、これでも足りません。ですから、今後増えていただくように、新座市としても医院、歯科医院等々に働きかけをしていきたいと思っております。

次に暑さや寒さを気にせずに遊べる屋内施設についての御質問を頂きました。確かにもう毎年暑いですね。年々暑さが厳しくなっており、もう5月の末から6月に入りますと猛暑になってきておりました、ようやく秋になったかなと思ったら、急に寒くなって冬に近づいているという気がします。夏の期間が長くなりました。5か月はもう本当に暑い状況であります。その対策というのは子どもたちの皆さんのみならず、高齢者の皆さん、大人の皆さんも、大きな問題になっております。そしてそのために、子どもたちが遊べる室内遊びができる場所を増やしてほしいということでもあります。新しい施設をつくるというのは、今計画を立てておりますけれども、そういう場所があります。ただ、今後は、施設を統合していくという考え方もございますので、皆さんの地域にはどういう状況になるかということは、今後しっかり市の計画を見ていただければありがたいと思っております。また多くの子どもたちから御提案があります、ボール遊びができる公園を作ってほしい、これは市議会でも必ずどなたかの議員さんが、質問をしていただいております。なかなかいい答弁はできておりませんが、既存のボール遊びができる施設というのは今現在4ヶ所でございます。

野火止六丁目のふれあい公園、野火止七丁目のふれあい公園、総合運動公園、それから石神第1児童遊園（スーパー公園）ということであります。ほかにもネットがある公園もあるんですね。栄三丁目児童遊園、菅沢一丁目児童遊園、新座二丁目ふれあい公園、野火止ふれあい公園、畑中ふれあい公園にネットがついているのですけれども、ここについてはボール遊びはできませんけれども、こういうところも今後検討していく必要があるのかなと思います。石神第1児童遊園は、いい例なんですよ。こちらは今ボール遊びができるのですけれども、近隣の石神小学校、八石小学校、栗原小学校の5年生の子どもたちに集まっていたいて、学校を通じて実施したウェブのアンケート結果を基に、石神町内会の人たちと話し合っ、ボール遊びができるルールを作りたいということですね、ルールを作って、一定のルールの中で、ボール遊びが去年の7月からできるようになったというような良い例もありますので、皆様方の声をまた色々なところで上げていくということも重要だと思いますので、よろしく願いしたいと思います。大変良い提案をいただきましたので、今後参考にしていきたいと思います。御提案ありがとうございました。

○議長（大和田小学校） 続いて、教育長の答弁をお願いします。

教育長。

○教育長（金子廣志） 野寺小学校の議員の方から、給食に関する質問をいただきましたので、私から答弁を申し上げます。給食の無償化についての御質問でございますが、新座市では、学校給食には大変力を入れているところでございます。安全でおいしい給食を皆さんに提供するためには、食材だけではなくて、施設設備の充実、衛生管理、そして調理員さんの適切な配置などを進めなければなりません。野寺小学校は、数年前に給食室の大規模改修をしたのは御存知でしょうか。こうして衛生管理の行き届いた給食室、調理室を確保するために少し調理室も大きくしまして、改修をしたところであります。こうした改修にも、たくさんのお金をかけている。正確には1億5,800万円かけて改修をいたしました。しかし、それは入れ物だけですから、中にある調理器具というのがあります。この調理器具も新しいものに入れ替えたところでございまして、例えば、スチームコンベクションという機械があるんですね。給食というのは、煮る、炒める、油で揚げる、茹でる、こういうことは回転釜でできるのですけれども、焼くことや、蒸すことがなかなか難しい。できない市町村がたくさんあります。そのため、魚を焼いて提供するという事は、今までできなかったんですね。ですから、和食を提供することが極めて難しいため、パンとか、あるいはスパゲッティのような洋食系にならざるを得なかった。新座市では、も

うずいぶん前からスチームコンベクションを入れています。ですから、焼き魚も提供することができるような設備が整っているわけです。それから、ご飯も炊飯を回転釜で炊いてましたから、非常に技術が必要だったわけですがけれども、今は炊飯器を全部入れていますから、炊飯器でご飯が炊けるというようなことで、実は施設設備には大変なお金をかけているということでもあります。また、調理員さんも配置しなければなりません。各学校で調理をしているということですから各学校に調理員さんを置かなければいけません。1か所で大きな食品工場のような給食センターを作って、そこで提供をすれば、大変経済的には便利ですが、各学校で温かい出来たての給食を皆さんに食べていただくということを考えて、自校方式という、各学校で調理をして、できたらすぐに提供できるようなシステムを導入しているところでございます。そのために人件費もかかるということで、野寺小学校の調理員さんの人件費は、年間で2,300万円ほどかかっているということでもあります。

そこで無償化ということですがけれども、新座市では、各家庭の状況によって無償化する方式をとっています。ですから、今でも1割を超える御家庭は、無償化をしているという状況でございます。また昨年度、今年度は、少し給食費を、物価上昇に合わせて値上げをさせていただきました。この値上げ分については、市で負担をさせていただいているところでございます。それから、子どもの数が多い3人目のお子さんについては、給食費は無償化をするというようなことで、全て市で補助しています。金額は全体で1億5,844万円ということです。しかしながら、これは一部ではありますが、これを全部市で負担をするとなると、年間で7億を超えるような経費が必要になってきます。私達は子どもたちに安全で安心な、そして美味しい給食、温かい給食を提供するということが何よりも大事だと思いますので、そうした市の予算は、施設設備とか、あるいは衛生管理とか、こういうことにしっかり使って、食中毒等を絶対に起こさないという、そういう給食を提供していきたいと思っています。今のところ新座市だけで、食材費まで無償化することは、大変難しいところではありますが、国や県の様子を見ながら、今後の方向を決めてまいりたいと思います。御質問ありがとうございました。今後も、美味しい給食を皆さんに提供できるように努力していきたいと考えているところでございます。

○議長（大和田小学校） ただいまの答弁に対し、再質問がありますか。

〔「ありません」という発言あり〕

○議長（大和田小学校） 以上で野寺小学校15番、16番の一般質問を終わります。

◎新座中学校

○議長（大和田小学校） それでは、新座中学校17番の一般質問を許可します。

〔17番登壇〕

○17番 これから一般質問を行います。

小・中学生の子どもがいる家庭が住んでみたい、ずっと住み続けたいと思えるまちになるには、子どもたちが防犯面や交通面で安心して登校でき、健やかに成長できる設備や環境が整っているまちになることが大切だと思います。理由は二つあります。一つ目は、安心して暮らせるまちに人は住みたいと思うから、二つ目は、設備や環境が整っているまちであれば、次の世代でも同じまちで子どもを育てようと思うからです。

現在の新座市では、防犯隊、パトロール隊や町内会の方が登下校中の小・中学生を見守ってくれています。そのおかげで、小中学生がより安全に登下校できるようになったと思います。そんな新座市を維持することで、住み続けたいと思えるまちになると考えました。

また、スーパーや薬局、コンビニなどのお店に加え、野菜の直売所が多く、買い物が便利で、用途に合わせて買い物をすることができます。さらに、公園も多く、子どもたちが健やかに成長することができます。このように、利便性だけでなく、子どもたちや親にとって、あると嬉しい設備や環境が整っています。

これらの設備や環境を維持するためには、主な利用者である小・中学生の一人一人が、決まりを守る、設備を大切にする、ごみ拾い等のボランティア活動に参加することなどが重要だと思います。このようなことから、新しく設備を作るだけでなく、今ある設備や環境を維持することが、住んでみたい、ずっと住み続けたいと思えるまちになることに繋がると考えました。市長はどのようにお考えですか。

以上で1回目の質問を終了します。

○議長（大和田小学校） ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。

市長。

〔市長（並木傑）登壇〕

○市長（並木傑） それでは、新座中学校の議員の方からの御質問にお答えしてまいります。

1点目として、新座市の防犯隊、パトロール隊や町内会の方による見守りについての御質問でございます。安全なまちづくりに向けまして、自主防犯パト

ロール団体として75の団体が新座市内では登録をされています。登下校の見守りなどの防犯活動を行っていただいております。市長として大変ありがたく思っております。自主防犯パトロール団体には市から防犯パトロール用のベストや帽子などをお渡しして活動をしていただいている状況でございます。しかしながら、現在やっていただいている方々の高齢化がありまして、一部の団体では活動を休止する団体もあるということです。現在活動していただいている自主防犯パトロール団体を支援しながら、今後活動を再開したり、新たに活動したりする団体を増やすことができるよう、しっかり検討していきたいと思っております。

2点目として御指摘いただきました施設や環境を整えたら、暮らしやすいまちづくりができるという御質問でございます。新座市には、今、農家の皆様が470戸ございまして、毎日野菜を作っております。そして直売所もたくさん設置していただいておりますし、新座農産物直売所発見マップを配布していただき、市民の皆様にも、どこの直売所で野菜が買えるかというマップがありますので、御利用いただきたいと思っております。新座市は田んぼがなく、お米は作れないですね。稲作はしておりませんので、野菜中心の美味しい野菜をPRをしているところでございます。

また、市内にあるお店に対しては商工会や商店会への補助をしておりまして、色々な歳末キャンペーンですとかセールという形で、販売促進のための補助金を新座市から出しておりまして、市民の皆様の利便を高めているところであります。

また、市内には256ヶ所の公園施設がございます。全地域の多くの公園を市のみで管理することは不可能でございます。町内会をはじめ、地域のボランティアの皆様のお力をいただいて、公園内の草刈りなどの清掃を行っていただいております。御指摘の通り多くの公園が安全で安心して利用できるということは大変重要なことでもあります。そのためには、まず公園のルールやマナーをしっかり守っていただくことが重要だと思いますし、その看板を立てさせていただいております。昨年からは、実は、日本語が得意でない方も理解できるように、絵や図を使ったピクトグラムを用いて、看板の設置も始めました。今後も現在である存在する施設、あるいは環境を大切にしながら、更なる発展に向けて検討を進めていきたいと思っております。市民の皆様に住んでみたい、ずっと住み続けたいと思っただけの新座市を作ってまいりたいと思っております。そのためにも、皆様方からの御意見をどんどん出していただくことは貴重なことだと思いますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

○議長（大和田小学校） 続いて、教育長の答弁をお願いします。  
教育長。

○教育長（金子廣志） 新座中学校の議員の方から、住んでみたい、ずっと住み続けたいと思えるまちになるための2つの提言をいただきました。安全安心なまちを作っていくためにということではありますが、今、市長の答弁の通り、新座市は様々な見守り活動をしてくださる方がいらっしゃいます。パトロール隊がなんと75の団体も、あるということでもありますし、こうした防犯パトロール隊だけではなくてPTAの皆さんや、そして地域の方々、町内会の方々、そして老人会の方々も皆さんの登下校を見守ってくださっています。大変ありがたいと思っています。こういうまちをずっと持続して作っていければと思っています。数年前ですが、実はあの中学生の誘拐事件が近くのまちでありました。長い間監禁をされていたという事件であります。その新聞報道によると、新座市にもその犯人は、物色というか、見に来たそうです。1人で歩いているような子はいないかどうか。ところが、新座市のまちを歩いていくと、たくさんの人が見守り活動をしているということで、このまちはちょっと難しいなということで近くのまちに移ったと新聞報道がありました。そのようなことで、地域の皆さんによって、皆さんの安全安心が守られているということで、こうした環境をずっと続けていければいいなと思っています。

また、心地よい環境を作っていくためには、やはりどんな良い施設があっても使い方が悪かったり自分本位に使ってしまったら、より良い心地よい環境を作ることはできないのだと思います。最近、自分のことしか考えない人や、あるいは公共のものをぞんざいに扱うような人も時々見られますけれども、これでは良い社会を築くことはできないと思います。御提言のように、ボランティア活動をみんなでしたり、ごみ拾いなど行ったり、ルールを守って社会生活を送ったりすることが大事だと思っています。誰もが幸せを感じるウェルビーイングな社会を、皆さんと一緒に築いていければいいなと思っています。教育委員会としましても、皆さんのそうしたボランティア活動がしっかりと展開できるように支援をしてまいりたいと思っています。御質問ありがとうございました。

○議長（大和田小学校） ただいまの答弁に対し、再質問がありますか。  
〔「ありません」という発言あり〕

○議長（大和田小学校） 以上で新座中学校17番の一般質問を終わります。

◎第二中学校

○議長（大和田小学校） 続いて、第二中学校18番の一般質問を許可します。

〔18番壇〕

○18番 これから一般質問を行います。

第二中学校では、新座市ならではの魅力を全国の人に知ってもらい、小中学生の子どもがいる家庭が、新座市に住んでみたい、新座市にずっと住み続けたいと思うまちづくりを実現するための提案をします。

新座市の課題は、市の魅力の発信がうまくできていないことだと考えます。そこで、新座市のインスタグラムのコンテンツ改変を提案します。具体的な改編の一つとしては、高校生や若者の発信力の活用です。高知県四万十町では、高校生が写真を撮り、町の公式インスタグラムで発信していました。学生独自の視点で地域の魅力を捉え、リアルに伝える力は話題性に繋がりがやすいですが、継続的なフォロワー獲得には、投稿頻度を増やし、ストーリーズを活用するなどの工夫が必要であると考えました。そこで、市内の小中高生と連携し、ゾウキリンに1日密着、中高生が撮る新座市の推しスポットなど、シリーズ化しやすい企画を導入し、若者からの共感を得ることができるコンテンツにすることです。二つ目は、コンテンツの多様化と投稿リズムの改善です。前述の四万十町の事例では、投稿を始めた当初は勢いがありましたが、その後の伸びは低迷しました。これは投稿頻度が不定期で情動的な内容に偏っており、アカウントとしての動きが見えにくいことが原因だと考えました。そこで、週1、2回などの定期投稿スケジュールを立て、フォロワーの期待感や習慣化を狙い、新座市の推し風景、ゾウキリンと歩くまちなど市民参加型の企画で投稿を増やすことです。私達第二中学校は、インスタグラム改変による新座市の魅力発信を提案します。

以上で1回目の質問を終了します。

○議長（大和田小学校） ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。

市長。

〔市長（並木傑）登壇〕

○市長（並木傑） それでは、第二中学校の議員の方からの御質問にお答えをいたします。

新座市に住んでみたい、住み続けたいと思われるまちづくりのため、効果的に新座市の魅力を発信することは市を更に発展させるためには必要であり、特に皆様のような若い世代の方々に御協力を頂くことは、SNSでの発信効果をさらに増大できると考えております。御提案のありました自治体の中には、中

高生や大学生と連携した取組を行っているところがございます。本市におけるSNSの情報発信は、現在のところ、市役所の業務に関連する内容がほとんどでございます。今回御提案のありました各自治体の類似事例を参考に、若者が独自の視点で本市の魅力をお伝えする企画を実施できないか、今後研究をしていきたいと思っております。御指摘の高知県の四万十町の事例も拝見させていただきました。また、高校生・大学生による市公式SNSの活用ということで、神奈川県平塚市が積極的にやっております。大変面白い内容になりました。面白い内容ということであれば、いろんな方が見に来るわけでありまして、見に来ると同時に新座市ってこういうところだなということで、新座市の知名度がアップするということが大変有効なことだと思います。新座市は、シティプロモーション方針というのが三つありまして、その一つに効果的な情報発信というものがございます。これはSNSを使って発信する際のやり方だと思うんですね。御指摘のとおり、子どもたち、あるいは大学生を含めてやっていくということは大変有効だと思います。今年の11月から新座市制施行55周年を記念する事業の一環として、特設サイト「にいぎの魅ドコロ！」をオープンいたしました。このサイトは実は地元の市民団体事業者の皆様が、イベントやおすすめ情報、求人情報を自由に投稿することがまずできるんですね。企業が運営しているのですけれども、新座に特化した情報の発信をするということでもあります。そして誰でも市に関する情報を発信、閲覧できるこの地域情報サイトが開設されました。ですからこれも、行政だけでは発信しきれない市の魅力を皆様の自由な発想や視点から投稿という形で情報発信ができるということでもあります。効果的なPRだと思いますので、ぜひどんどん投稿していただいて、いろんな情報をこのにいぎの魅ドコロというところにお寄せいただいて、盛り上げていただければ大変助かるわけでございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。素晴らしい御提案、ありがとうございました。

○議長（大和田小学校） ただいまの答弁に対し、再質問がありますか。

18番。

○18番 再質問いたします。現在第二中学校では、よりよい学校を目指すために代表者委員会という委員会が開かれています。この中の活動内容に、学校の課題を解決するために、委員会同士でのコラボを開催し、学校の課題を解決してきました。このことから新座市の課題である、魅力の発信を地元の企業とコラボして情報発信することで解決できると思ったのですが、これはどう思いますか。

○議長（大和田小学校） ただいまの再質問に対し、答弁をお願いします。

市長。

- 市長（並木傑） 地元の企業ももちろんですけども、新座市は実は新座市内にあります立教大学、十文字学園女子大学、跡見学園女子大学の3大学がごぎいます。この3大学と地域包括連携協定というのを結んでおりまして、あらゆる分野でこの連携をすることになっております。大学が三つあるというのはなかなかございませんので、この3大学と全ての分野について連携をしているということでありまして、また新座市の商工会には、市内の全企業約4,500社中、約2,500社が会員となっております。新座市の商工会と新座市とは、あらゆる分野で提携をしております、特に、新座の見どころ、あるいは新座のシティプロモーション上、いつも連携を図っております。今後は御指摘の通りSNSを通じて身近な発信をどんどんしていくということ、それが企業も当然連携を図っていくというのが重要だと思っております。引き続き、この連携は深めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。
- 議長（大和田小学校） 以上で第二中学校18番の一般質問を終わります。

### ◎第三中学校

- 議長（大和田小学校） 続いて、第三中学校19番の一般質問を許可します。
- 〔19番登壇〕
- 19番 これから一般質問を行います。

私達の考える新座市の魅力は、都心から近い距離にあること、ICT教育が充実していることが挙げられると思ひます。しかし、一つ目の内容は、新座市ならではの魅力というより、都心に依存した上で成り立つものだと考えます。新座市ならではの魅力を、生徒会本部で考えてみたのですが、ICT教育が充実していること以外、あまり思ひつきませんでした。そこで、新座市内に魅力的な場所を作ることをご提案します。

多くの人々が駅を利用すると思ひますので、駅で降りる理由となる場所を作ってほしいです。具体的には、動画や写真を撮影して盛り上がるオブジェやスポット、話題になるカフェ等を作ることによって、新座市という名前を知ってもらうことになると思ひます。

さらに最近では、自治体によって企業とコラボレーションしてPRするというごこともあるようです。例えば、ポケモンとコラボするポケふたというものがあり、近隣の所沢市では三つ設置されており、それを目当てに訪れる人も多いそうです。ぜひ設置を検討してほしいです。これは、駅だけでなく、平林寺と、新座市の観光地の近くに設置することで効果があると思ひます。

他にも、市内を巡りながら謎を解いていくイベント、近隣の市でもやっているところがあります。市内を歩きながら、魅力を感じてもらえるきっかけになるとと思います。これらのように、新座市に足を運ぶきっかけ作りを検討していただけたらと思います。

また、新座市の魅力を多くの人に知ってもらおうということも大切です。そこで、Y o u T u b eやT i k T o kなどを生かした広報活動を行うべきだと思います。全国的に人気のあるインフルエンサーやY o u T u b e rとコラボし、新座市の魅力を伝えてもらうのはいかがでしょうか。特に若者に影響力があると思うので、今後新座市を支える人々に魅力を伝えることに繋がるとと思います。

最後に、子ども向けのイベントやフェスティバルを開催するのはいかがでしょうか。子どもフェスで楽しく学べるイベントを企画し、地域の魅力を伝える、参加型のゲームやワークショップを取り入れると、子どもたちも喜ぶと思います。新座市の魅力をより多くの人に知ってもらえるように、これらのことを提案させていただきます。

以上で1回目の質問を終了します。

○議長（大和田小学校） ただいまの質問に対し、答弁をお願いします。

市長。

○市長（並木傑） それでは、第三中学校の議員の方から6点について御質問いただきましたので、順にお答えしてまいります。

まず1点目でございます。駅周辺、新座駅、志木駅へのオブジェやフォトスポットの設置についてです。新座市は都市近郊にありながら、雑木林や野火止用水の自然環境や平林寺、あるいは法臺寺、普光明寺等、歴史的文化財に恵まれておりまして、四季を通じて写真映えするスポットが多数ございます。そこで10年前の市制施行45周年には記念事業の一つとして、市民の皆様からのスポットを撮影した写真を応募して選定した作品を、景観45選として作品集にまとめました。いずれも本市の良さを感じる場所であります。このフォトスポットについては、今後市ホームページで紹介することを検討したいと思えます。身近な場所でも大変面白い場所があると思えますので、そういうところのフォトスポットを、この市ホームページで紹介すると、大変いいことだと思います。オブジェにつきましては、実は東京2020オリンピックパラリンピックの射撃競技場が新座市で開催され、自衛隊の射撃訓練場が大会会場になりました。そこでオブジェとして、新座駅前に公式マスコットキャラクターでありました、ソメイティとミライトワのオブジェが期間中ございました。今はありませんけれども、そういう何か大きな大会があったときにこういったオブジェ

を積極的に設置していきたいと思います。

2点目の御質問でございます。カフェについては自治体ではなく、民間企業が出店することが想定されます。市内に特色あるカフェがあると多くの方が、市を訪問すると思います。実際訪れる方もたくさんいますので、いかに周知を図っていくかということが重要だと思います。新座市と市の産業観光協会という観光に特化した団体がございまして、この団体と、4月から市内のおすすめスポットや見どころをまとめましたガイドブックがございまして、55周年にちなみまして、Go!Go!にいざというパンフレットを作りましたので、ぜひ皆さんにも後でお渡ししますので、こういう魅力のところがあるのかということで、御覧になっていただければと思います。この中にはカフェも当然紹介されておりますので、ぜひ特色あるお店を紹介していただければと思います。

3点目のポケふたについても、実は55周年の記念事業でこれを導入したらどうかという検討をしたんですけれども、現在このポケふたの新規受付が停止しているという状況でございます。残念ながら実施できませんでした。ですから、今後同じような方法で市内に訪れるきっかけがあれば考えていきたいというふうに思います。また、ポケふたが再開したら設置するように検討していきたいと思います。

4点目、新座市内を巡るイベントとしましては、先ほど申し上げました産業観光協会が主催しているデジタルスタンプラリーについては11月1日から12月26日までの間で開催をしております。そしてなんと明日ですね、この商工会が主催する発見ウォーキングがございまして。明日11月9日日曜日ですけれども、すぐそこ発見ウォーキングが開催されますので、ぜひ御参加いただければと思います。

5点目のインフルエンサー、YouTuberのコラボについての御質問でございます。幅広い世代への認知度向上や市の魅力発信のために有効な手段であると認識をしております。今年7月に、新座市の観光親善大使になっていた俳優の川島海荷さん、この方は市内の小、中学校卒業の方でございます。今は違うところにお住まいですけれども、新座市の観光親善大使になっていただきました。この川島海荷さんの御自身のSNSで新座市を定期的にPR発信していただいております。外部の人材やプラットフォームを活用する方法で機会を捉えて検討はしていきたいと思います。有名なYouTuber、インフルエンサーが新座市をPRしていただければ、相当な効果があると思いますけれども、費用が発生すると思いますので、その検討もあるのかなと思います。

6点目、子ども向けのイベントやフェスティバルを開催する子どもフェスタ

の実施ということでございます。地域の魅力を伝えるゲームやワークショップを取り入れた開催によって子どものみならず多くの人たちが新座市の魅力を知る貴重な機会に繋がる、大変いい機会だと思っております。今回の提案を踏まえて児童センターなどの子どもが多く集まる場所で、新座市の魅力を楽しく学べるイベントの開催について、検討していきたいと思っております。様々な御提案をいただきました。新座市の魅力をより多くの人に伝えるように努めていきたいと思っております。大変貴重な御意見をいただき、ありがとうございます。

○議長（大和田小学校） ただいまの答弁に対し、再質問がありますか。

〔「ありません」という発言あり〕

○議長（大和田小学校） 以上で第三中学校19番の一般質問を終わります。

これをもちまして一般質問は全て終了しました。

### ◎市長閉会の挨拶

○議長（大和田小学校） 続いて、市長から挨拶のため、発言の申し出がありましたので、許可します。

市長。

〔市長（並木傑）登壇〕

○市長（並木傑） 令和7年度新座市小中学生議会の閉会に当たりまして、一言御礼の御挨拶を申し上げたいと存じます。

本日は土曜日のお休みのところ早朝から各小中学校を代表して、19名の議員の皆様にご出席をいただきました。ありがとうございます。また、新座中学校、大和田小学校の方が議長になっていただきまして、一般質問という形で、それぞれの学校でお考えいただいた意見を発表していただきました。各議員の皆様には大変熱心に御質問をいただきました。誠にありがとうございます。

また、保護者の皆様、各学校から校長先生、御指導いただいた先生方におかれましては、御指導いただき、あわせて長時間にわたりまして熱心に傍聴をしていただきました。改めてお礼を申し上げる次第でございます。ありがとうございます。

小・中学校の皆様からの視点で新座市政に対する御意見、御要望につきましては、市政運営に大変参考になるところでございます。共創のまちづくりというのは、市民主体のまちづくりでございます。そのためにはやはり子どもたちからも貴重な御意見を伺い、これを市政に反映することは重要なことでありまして、新座市が掲げる「未来もずっと暮らしにプラスが生まれる 豊かなまち

新座」、これが新座市の第5次総合計画のスローガンでございます。このためにも必要なことだと思っております。皆様も学校に帰られましたら本日経験したことや、あるいは学んだことを各学校に持ち帰りまして、ぜひ学校のみなどと報告し、新座市のまちづくりについて再び話し合っただければ幸いです。

これからもどうか学校での勉強、スポーツに大いに頑張ってくださいまして、新座の将来を背負っていただく素晴らしい青少年に成長されますことを祈念しております。市といたしましても、皆様の成長を、様々な政策を通じて、引き続き支援をしてまいります。皆様方の今後のますますの御活躍を心からお祈り申し上げます。令和7年度新座市小中学生議会閉会に当たっての御礼の御挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

## ◎閉会の宣告

○議長（大和田小学校） 小・中学生議員並びに執行部の皆様には、長時間にわたり、大変熱心に御質問、御答弁いただき、ありがとうございました。

以上をもちまして、令和7年度新座市小・中学生議会を閉会します。ありがとうございました。

閉会 午前11時57分